

バスナシリーズ 施工手順

継目処理が必要な場合 熱風溶接工法またはバスナシールSS、端部：バスナシールSS

施工方法

①下地の確認(下地調整)

施工する下地としての条件に適しているかどうかチェックします。なだらかな勾配のある下地であることが大切です。

【モルタル・コンクリート下地】

- 下地湿気は、「高周波水分計HI-520-2型(D.MODE) 620未満」を条件とします。
- 凹凸は、ケレン用具や下地補修材(クイックレベラー等)で補修します。

【磁器タイル下地】

- 目地部分を下地補修材(クイックレベラー等)で埋めて平滑に仕上げます。尚、磁器タイル上に付いた補修材は、拭き取るか、あるいはケレン用具等で取り除きます。

【FRP下地】

- 目地等の凹凸がある場合には、バスナパテEPO等を使用して補修します。

②材料納入・仮敷

仮敷をして、巻き癖等を取ります。

※巻き癖等を取り易くする為にできるだけ10℃以上の場所で仮敷してください。

③下地の清掃

下地のホコリ、ゴミ等を除去します。

④割付・粗切り

できるだけ目地が少なく、水の流れを妨げないように、また端部に細かいカットが入らないように割付けし、多少長めにカットしておきます。輸送・保管中にシートの耳が破損している場合は、耳落しを行います。

⑤シートのカット

【全面敷込】

- 壁際はシールを考慮し、3～5mm程度空くように巾定規やバースクライバー等を用いてカットします。

【部分敷込】

- 磁器タイル下地やFRP下地にシートを部分的に敷込む場合は、あらかじめ敷込む範囲を決めてカットし、全周をシールします。

⑥接着剤の塗布

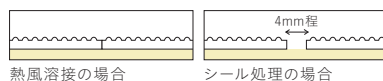
専用接着剤(バスナセメントEPO)を塗布します。この接着剤は2液型エポキシ樹脂系接着剤ですので、A液とB液をプラスチック容器等に等量計量し、色が均一になるまで攪拌してから、速やかに塗布してください。

⑦シートの貼付け

仮敷きで取れなかった巻き癖を裏巻きにする等して充分に取り除いてください。エアーを巻込んだり、たるみが出ないように、中央から空気を追い出すようにして貼付けます。

⑧目地部の処理

継目処理は熱風溶接・シール剤のどちらでも施工可能です。継目処理を溶接する場合は突付け、シール処理する場合は4mm程あけて施工します。



熱風溶接の場合

シール処理の場合

⑨圧着・エアー抜き

施工後は目地部分を含め、シート全面を充分圧着します。

※巻き癖が取れなかった場合、部分的に浮きが発生する事があります。その場合はライター、ドライヤー等の熱風でシートをやわらかくした上で再度圧着してください。

⑩養生・確認

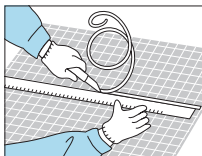
接着剤による汚れ等、不備な点がないかチェックし、養生します。

熱風溶接工法による継目処理

専用溶接棒を使用します。

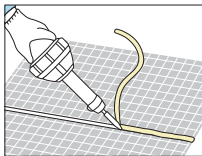
①カット

接着剤が充分に硬化した後、目地部分を溝切り機か溝切りカッターでUまたはVカットします。



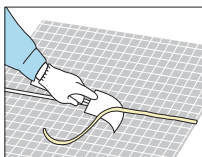
②熱風溶接

バスナ専用溶接棒を熱風溶接します。



③余剰部分カット

スパトラナイフ等を用いて余剰部分をカットします。

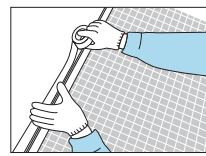


バスナシールSSによる継目・端部処理

専用シール剤(バスナシールSS)を使用します。

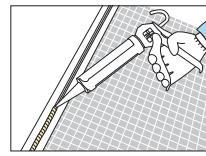
①マスキング

シールする周辺を汚さないように、マスキングテープを貼ります。塗布表面のゴミ、ホコリ等を除去し、水分のないことを確認します。



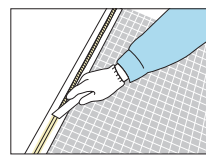
②充填

カートリッジの先端部をカットし、防湿膜に穴をあけてからコーキングガンにセットし、シート継目・端部に充填します。



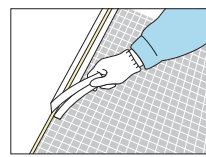
③平滑にする

充填後、すぐに仕上げ用のヘラで表面を平滑に仕上げます。



④マスキングテープの除去・養生

表面を仕上げた後、すぐにマスキングテープを取り除きます。

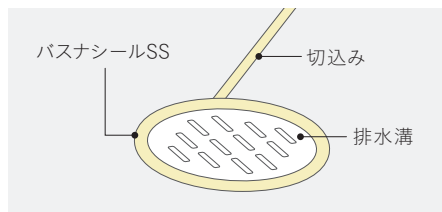


注意事項

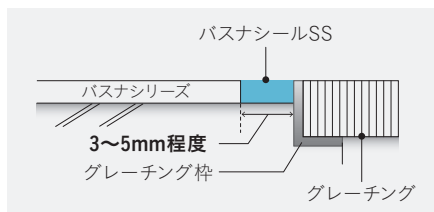
- 施工終了後、一晩養生したのち入浴していただくことは可能です。
2～3日間はシール部へのブラシ清掃は避けください。また、大型浴室等でのキャスターの往来は2～3日お控えください。

排水溝とグレーチングまわりの納まりについて

水勾配の大きな排水溝まわりは、切込みを入れるなどして処理してください。切込み部分は、継ぎ目または端部と同じ処理を行ってください。



グレーチングでは、金属部分の3～5mm手前で切り込み、その隙間にシール剤を充填してください。



■付録

下地補修について

タイル目地などの下地の凹凸の深さが1mm以上もしくは、凹凸の間隔が10mm以上の場合は、下地補修材（別売）を用いて目地を埋める必要があります。使用する下地補修材については下表をご参照ください。

使用接着剤・テープ	下地	下地補修材
バスナテープ	磁器タイル	バスナパテEPO
	ユニットバスFRP（樹脂）	バスナパテEPO
バスナセメントEPO	磁器タイル	クイックレベラー
	ユニットバスFRP（樹脂）	バスナパテEPO

バスナパテEPOで下地を補修する場合

- (1) 下地のゴミ、ホコリを取り除きます。
- (2) 使用方法に従って、バスナパテEPOのA液とB液を等量混合します。
- (3) 左官ごてや地べら等（別売）を使用して、目地部分等の凹み部分に等の下地補修材で埋めて平滑（平ら）に仕上げます。
- (4) バスナパテEPOが乾いたことを確認し、床シートの施工を行ってください（待ち時間目安 20℃：3時間程度）。

クイックレベラーで下地を補修する場合

- (1) 下地のゴミ、ホコリを取り除きます。
- (2) 使用方法に従って、クイックレベラーに水を混ぜます。
- (3) 左官ごてや地べら等（別売）を使用して、目地部分等を下地補修材で埋めて平滑（平ら）に仕上げます。
- (4) クイックレベラーが乾く前に、磁器タイル上についたクイックレベラーを取り除いてください。
- (5) クイックレベラーが乾いたことを確認し、床シートの施工を行ってください（待ち時間目安 20℃：3時間程度）。

ご注意

- 水はけ性を発現させるために、下地水勾配は排水溝に向かい1/100～3/100程度お取りください。
- 下地補修により水勾配が充分に取れなくなると水はけ性が悪くなります。
- 施工1日後より入浴することが可能です。